



すすんで やさしく こんきよく ~みんなでつくろう!たのしい学校~

雨の日もみんなで遊ぼう!



ガマンの中、がんばる子どもたち!



緊急事態宣言の延長とともに、例年になく早い梅雨入りとなりました。運動場でいっぱい遊びたい子どもたちにとっては、ダブルパンチをうけたような感じでしょう。ガマン、ガマンの連続です。

そんな中、教職員から「雨の日に体育館を使ってみんなで遊ぶことはできないか。」という声があがり、みんなで協力して実現させることになりました。大休憩の二十分間ですが、自由参加で、ドッチボールや大なわとびなどに取り組んでいます。不定期ですが、できるかぎり子どもたちの期待に応えていきたいと思えます。

緊急事態宣言が延長され、遠足や運動会など、子どもたちが楽しみにしていた学校行事が、つぎと延期になり、子どもたちもさぞかしがっかりしていることだろうと思います。今後、一定の制約の中で教育活動をすすめることになり、子どもたちにもガマンを強いられることがしばらくは続きそうです。

そんな中ですが、各教室をのぞいてみると、子どもたちのがんばる姿をたくさんみることが出来ます。授業中わからない人にていねいに教えてあげている子、支援学級で勉強しているお友だちがこまっているのを助けている子、トイレのスリッパをもくもくとならべている子、いつも熱心に本を読んでいる子、お客さんに大きな声で元気よくあいさつしている子など、あち

らこちらで子どもたちのよいところがふれることができ、とてもうれしく思います。

今後どういう状況に変化したとしても、子どもたちの安全、安心を最優先とした学びをなんとしても継続してゆかなければなりません。この状況の中でも懸命にがんばっている子どもたちにとって、「あのころはコロナがあったから仕方なかった。」ということはあってはならないことだと思っています。

一定の制約の中でも、できることを精いっぱい考え、子どもたちの楽しさにつながる教育活動をすすめていくことができますように努めてまいります。保護者、地域のみなさまには、どうぞ今後とも、率直なご意見とともに、あたたかいご支援をいただきます。

日	曜	6月行事予定
1	火	放課後学習高学年
2	水	つだっ子タイム
3	木	諸費振替
4	金	クラブ開始
6	日	スマイルフェスタ 3時間目まで(給食なし) 11:50下校
7	月	代休
11	金	学校水泳6年 児童委員会 心臓検診2次
14	月	レントゲン撮影(該当児童) 放課後学習低学年
15	火	放課後学習高学年
16	水	4・5・6年全国体力・運動能力テスト
17	木	学校水泳5年
18	金	クラブ
21	月	放課後学習低学年
22	火	放課後学習高学年
23	水	学校水泳6年
24	木	授業参観・懇談会(3限~5限) ひまわり親と子のつどい
25	金	クラブ
28	月	放課後学習低学年
29	火	放課後学習高学年
30	水	3年人権研究授業 1. 2. 4. 5. 6年 13:35下校 3年 14:50下校

7月 2日(金)	1・2年遠足【水間公園】
	3・4年遠足【市内めぐり】
7月15日(木)	5・6年遠足 【大阪府近つ飛鳥博物館】



1年生活 あさがおの種まき



2年体育 鉄ぼうの授業



3年社会 iPadを活用した授業



4年算数 折れ線グラフと棒グラフの授業



5年図工 ホワイトボードづくり



6年体育 台上前転にとりくむ

コロナ下を生きる子どもたち

新型コロナウイルス感染症の拡大がおさまらず、3回目の緊急事態宣言が出され、さらに延長されることが議論される中で、子どもたちはいったい何を思っているのだろうか。津田校の子どもたちに聞いてみた。

家族みんなで旅行に行きたい。(4年女子) ○みんなで集まってパーティーをしたい。(4年男子)
○スマイルフェスタを成功させて、楽しみたい。(6年女子) ○マスクをはずして自由になりたい。(3年男子) ○服など、お買い物に行きたい。(3年女子) ○デイズニーランドやユニバのマリオパークに行きたい。(2年女子) ○遠足に行きたい。(5年男子) ○マスクをとって友だちと思いきり遊びたい。(5年男子) ○キャンプに行きたい。(1年女子) ○映画を観に行きたい。(1年男子) ○おもちゃを買ってほしい。(1年女子) ○遠足に行きたい。(1年男子)
○マスクなしで修学旅行に行きたい。(6年女子) ○友だちみんなにありがとうをいいたい。(5年女子) ○みんなと会話しながら給食を食べたい。(5年男子) ○大きな声で歌を歌いたい。(2年男子) ○家族みんなにありがとうをいいたい。(4年男子) ○みんなで楽しいことをしたい。(3年男子) ○たいへんだけど勉強をしっかりがんばりたい。(5年女子) ○できるだけたくさん本を読みたい(4年男子)

一人ひとりの「子どもの声」に耳を傾けてみると、新型コロナウイルス感染症の収束を願いつつ、いつかマスクをはずして、遠足や修学旅行、家族旅行に行くこと、思いきり遊ぶことなどを強く願っている子どもたちの姿があった。また家族や友だちなど、不自由な生活の支えになってくれている周囲の人たちへの、素直な感謝の気持ちも示されていた。

新型コロナウイルス感染症が広がって1年以上が経ち、津田校の子どもたちはここまで、全国での一斉休校や学校行事の中止などを経験してきた。現在は学校に登校し対面授業を受けているとはいえ、さまざまな制限は今も続いている。そんな制限の多い暮らしの中でも、子どもたちの言葉には、子どもなりに前向きに取り組もうとする気持ちがあふれていた。

私たちは、この思いを大切にしていきたいと思う。